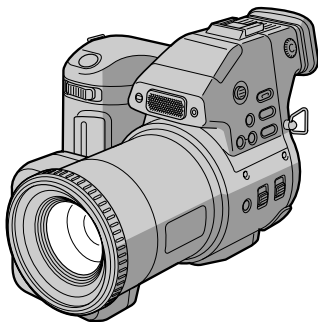
3-061-389-**02** (1)

デジタルスチルカメラ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Digital
Mavica

MVC-FD95

必ずお読みください

本機はフロッピーディスクをメディアとして使用するデジタルカメラです。使用できるフロッピーディスクについては、12ページをご覧ください。

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。

撮影内容の補償はできません

万一、カメラなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、撮影内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機に振動や衝撃を与えないでください！

誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、フロッピーディスクが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。

液晶画面およびファインダー、レンズについて

液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られています。
黒い点が現れたり、赤や青、緑の点が消えないことがありますが、故障ではありません（有効画素99.99%以上）。これらの点は記録されません。
液晶画面やファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。
窓際や屋外に置くときはご注意ください。

湿気にご注意ください！

雨の日などに屋外で撮影するときは、本機を濡らさないようにご注意ください。
結露が起きたときは、54ページの記載に従って結露を取り除いてからご使用ください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピーをおとりください。

目次

準備

基本操作

■ 撮影

■ 再生

応用操作

応用操作の前に

■ いろいろな撮影

■ いろいろな再生

■ 画像編集

その他

各部のなまえを確認する

使いかたの説明は、（　）内のページにあります。

オープン　フラッシュ
1 **OPEN（FLASH）ボタン**（17）

2 **内蔵マイク**
撮影時触れないようにする。

3 **セルフタイマーランプ**（17）

4 **シャッターボタン**（13、19）

5 **ズームレバー**（15）

6 **調光窓**
撮影時にふさがないようにする。

7 **フォーカスリング**（37）

8 **レンズ**

ディーシーイン
9 **DC IN端子**（7、9）

10 **（ワンプッシュホワイトバランス）ボタン**（40）

11 **フラッシュ**（17）

12 **アクセサリーシュー**

スポット　メーター
13 **SPOT METERボタン**（39）

14 **ファインダー視度調節ダイヤル**（14）

ホワイト　バランス
15 **WHITE BALANCEボタン**（40）

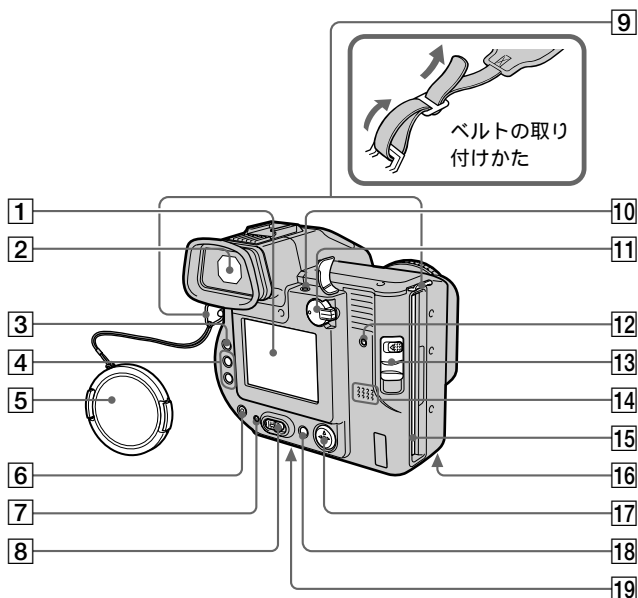
プログラム　エーイー
16 **PROGRAM AEボタン**（38）

ステディ　ショット　オン　オフ
17 **STEADY SHOT ON/OFFスイッチ**（16）

オーディオ　モノ　ビデオ　アウト
18 **AUDIO (MONO)/VIDEO OUT端子**（46）
オーディオ出力はモノラルになります。

フォーカス　オート　マニュアル
19 **FOCUS AUTO/MANUALスイッチ**（36、37）

20 **（マクロ）ボタン**（36）

プログラム　エーイー
21 **PROGRAM AE +/－ボタン**（38）

1 **液晶画面**

2 **ファインダー**（14）

エルシーディー　オン　オフ
3 LCD ON/OFF**スイッチ**（14）

ボリューム
4 VOL＋/－**ボタン**（22）

5 **レンズキャップ（付属）**

6 **⚡（フラッシュ）ボタン**（17）

オン　チャージ
7 ON/CHG**ランプ**（7、10）

パワー
8 POWER**スイッチ**（10）

9 **ベルト取り付け部**

10 **⚡（外部フラッシュ）端子**

プレイ　スチル　ムービー
11 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチ**
（13、19、20、27）

アクセス
12 ACCESS**ランプ**（13）

ディスク　イジェクト
13 DISK EJECT**レバー**（12）

14 **スピーカー**

15 **フロッピーディスク挿入口**（12）

プッシュ
16 **バッテリーカバー**/PUSH**ボタン**
（6）

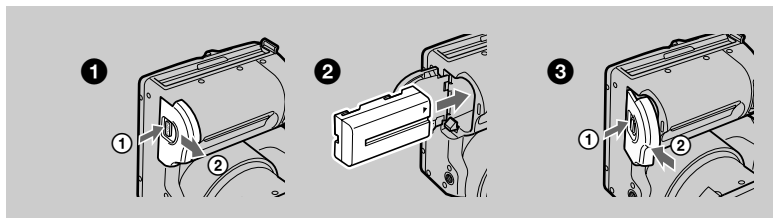
17 **コントロールボタン**（10、27）

ディスプレイ
18 DISPLAY**ボタン**（16）

19 **三脚用ネジ穴（底面）**
ネジの長さが6.5 mm未満の三脚をお使いください。ネジの長い三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

電源を準備する

バッテリーを本体に入れる

本機の電源には“ インフォリチウム ”バッテリー* (Lシリーズ) NP-F330 (付属) ／F550 (別売り) を使用します。それ以外のバッテリーはお使いになれません。

❶ **バッテリーカバーを開ける。**

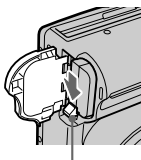
PUSHボタンを押しながら矢印の方向に開けます。

❷ **バッテリーを入れる。**

バッテリーの▲マークを奥にして入れます。

❸ **バッテリーカバーを閉める。**

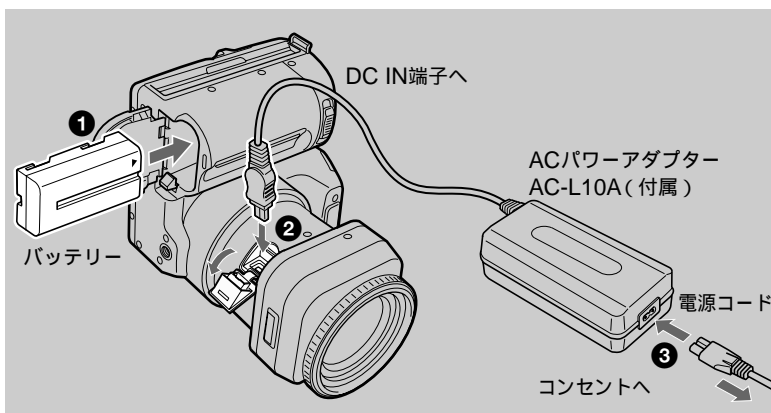
バッテリーを取り出す

バッテリーカバーを開け、バッテリー取りはずしレバーをずらして取り出してください。
取り出すときは、バッテリーが落下しないようにご注意ください。

バッテリー取りはずしレバー

* **InfoLITHIUM L SERIES (“ インフォリチウム ”) バッテリーとは**

InfoLITHIUM L SERIES (“ インフォリチウム ”)に対応している機器とバッテリーの使用状況に関するデータ通信を行うことができるバッテリーです。本機はInfoLITHIUM L SERIES (“ インフォリチウム ”)対応です。“ InfoLITHIUM(インフォリチウム) ”はソニー株式会社の商標です。

バッテリーを充電する

本機の電源が入っていると、バッテリーを充電できません。
必ず本機の電源を切っておいてください。

❶ **バッテリーを本体に入れる。**

❷ **DC IN端子カバーを開け、▲マークを上にして、本機のDC IN端子につなぐ。**

❸ **電源コードをACパワーアダプターとコンセントにつなぐ。**
充電が始まると、液晶画面の下のON/CHGランプがオレンジ色に点灯します。
充電が終わると、ON/CHGランプが消えます（**実用充電**）。
そのまま約1時間充電を続けると、バッテリーを若干長く使うことができます（**満充電**）。

バッテリー残量時間表示

撮影／再生できる残り時間を液晶画面またはファインダーに表示します。
使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。

オートパワーオフ機能

撮影中に本機の電源を入れたまま約3分間操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。そのまま使いたいときは、POWERスイッチを右側にずらして電源を入れ直してください。

充電時間

バッテリー	満充電時間	実用充電時間
NP-F330（付属）	約150分	約90分
NP-F550	約210分	約150分

使い切ったバッテリーをACパワーアダプターAC-L10Aで充電したときの時間です。

バッテリーの使用時間と撮影／再生可能枚数

静止画を撮影／再生するとき

	NP-F330（付属）		NP-F550	
	使用時間	撮影／再生枚数	使用時間	撮影／再生枚数
連続撮影時*	約65分（60分）	約650枚（550枚）	約150分（130分）	約1600枚（1300枚）
連続再生時**	約80分（75分）	約2200枚（2000枚）	約170分（150分）	約4800枚（4200枚）

温度25 ℃で満充電して使用したときの場合。（　）内は実用充電の場合。
画像サイズが640×480、撮影モードが通常撮影の場合。
* 約5秒ごとに撮影
** 約2秒ごとにシングル画面を順番に再生

動画を撮影するとき

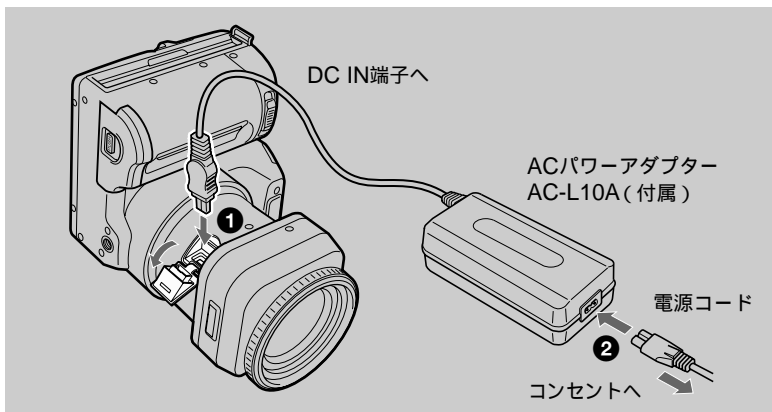
	NP-F330（付属）		NP-F550	
	使用時間	撮影枚数	使用時間	撮影枚数
連続撮影時	約70分（60分）	約50枚（40枚）	約160分（140分）	約120枚（100枚）

温度25 ℃で満充電して使用したときの場合。（　）内は実用充電の場合。
画像サイズが160×112の場合。

ご注意

- 低温で使用したり、フラッシュを使った操作、電源の入／切、ズームを繰り返すと、使用時間は短く、撮影／再生枚数は少なくなります。
- フロッピーディスクの容量は限られています。上記の時間と枚数はフロッピーを交換しながら連続撮影／再生したときの目安です。

- バッテリー残量表示時間が充分なのに電源がすぐ切れるときは満充電すると正しく表示されます。
- ACパワーアダプターのDCプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- バッテリーは水に濡らさないでください。

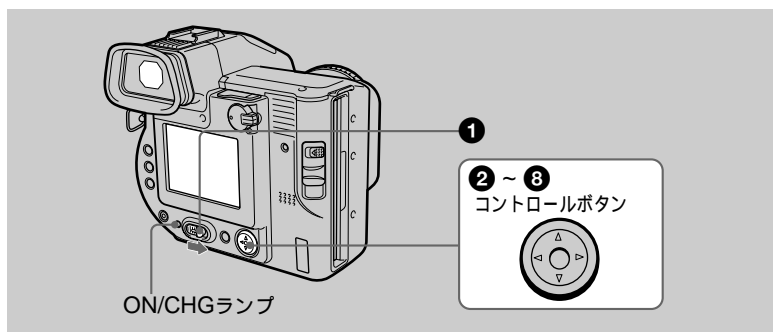
外部電源を使用する

❶ DC IN端子カバーを開け、▲マークを上にして、本機のDC IN端子につなぐ。

❷ 電源コードをACパワーアダプターとコンセントにつなぐ。

自動車電源は

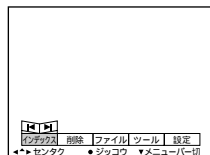
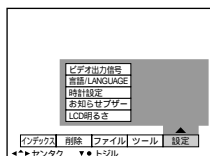
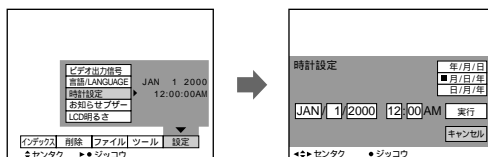
別売りのDCアダプター／チャージャーでご利用いただけます。

日付・時刻を合わせる

本機をはじめて使うときは、日付・時刻を設定してください。設定しないと、電源を入れ、撮影状態にするたびに日付設定画面が表示されます。

❶ POWERスイッチを矢印の方向にずらして、電源を入れる。

ON/CHGランプが緑色に点灯します。

❷ コントロールボタンの▲を押す。

メニューバーが表示されます。

❸ コントロールボタンの▶で［設定］を選び、中央の●を押す。

❹ コントロールボタンの▲/▼で［時計設定］を選び、中央の●を押す。

❺ コントロールボタンの▲/▼で年月日の表示順を選び、中央の●を押す。

［年/月/日］［月/日/年］［日/月/年］の中から選びます。

❻ コントロールボタンの◀/▶で設定する年、月、日、時、分の項目を選ぶ。

設定する項目の上下に▲/▼が表示されます。

❼ コントロールボタンの▲/▼で数値を設定して、中央の●を押す。

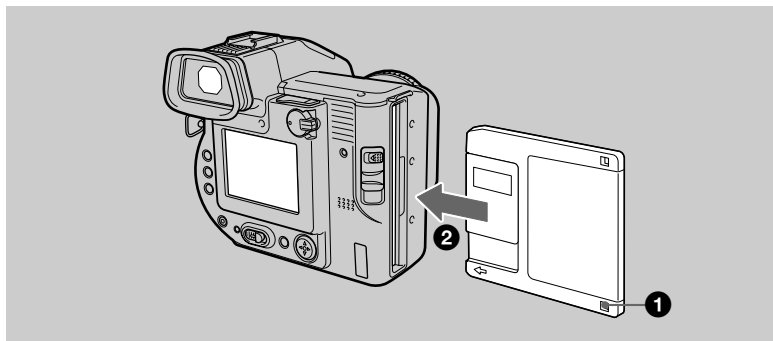
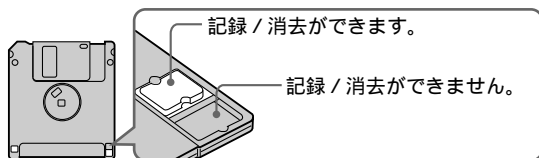
数値が確定され、次の項目に移ります。
手順❺で［日/月/年］を選んだときは、24時間表示で設定してください。

❽ コントロールボタンの▶で［実行］を選び、時報と同時に中央の●を押す。

日付・時刻が設定されます。

中止するには

コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で［キャンセル］を選び、中央の●を押してください。

フロッピーディスクを入れる

❶ **撮影するときは、誤消去防止タブが記録／消去できる位置になっているか確認する。**

❷ **フロッピーディスクをカチッと音がするまで差し込む。**

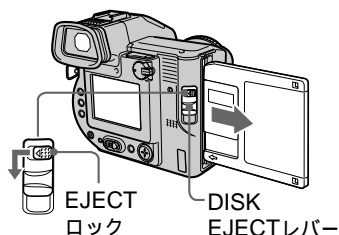
使えるフロッピーディスク

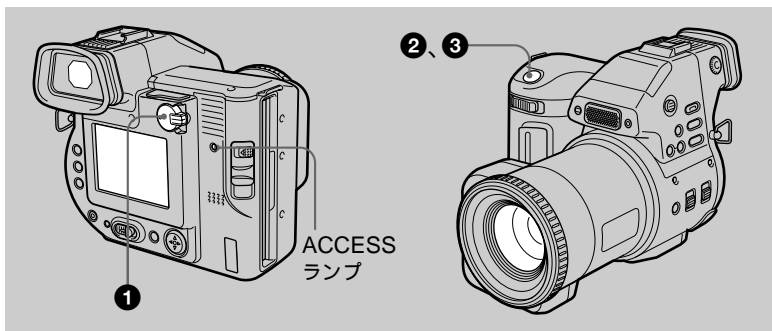
- サイズ：3.5インチ
- タイプ：2HD
- 容量：1.44 Mバイト
- フォーマット：MS-DOS（DOS/V）フォーマット（512バイト×18セクタ）

上記以外に、"メモリースティック"*（別売り）をメモリースティック用フロッピーディスクアダプターMSAC-FD2M（別売り）に装着しても使えます。

* "Memory Stick"（"メモリースティック"）、および MEMORY STICK はソニー株式会社の商標です。

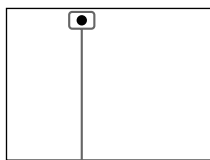
フロッピーディスクを取り出す

EJECTロックを左側にずらしたまま、DISK EJECTレバーを下にずらしてください。

静止画を撮る

静止画をJPEG（ジェイペグ）形式で撮影します。
POWERスイッチで電源を入れ、フロッピーディスクを入れておきます。

1 PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「STILL」にする。

2 シャッターを軽く押し、そのまま画像を確認する。

●AEロック表示（緑）が点滅し、その間画像は止まります。**このときはまだ撮影されていません。**本機の自動調整*が終わると、●AEロック表示が点滅から点灯に変わります。

●AEロック表示が点灯すると、撮影可能になります。
撮影を中止するときはシャッターから指を離します。

3 シャッターを押し込む。

カシャッと音がして、画像がフロッピーディスクに書き込まれます。

* 露出とフォーカスを自動調整します。手動でピントを合わせているときは、オートフォーカスは自動調整されません。

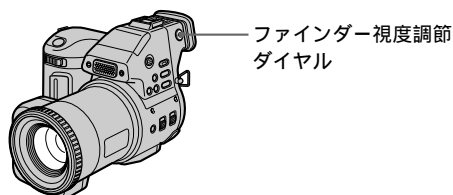
フロッピーディスク1枚に記録できる枚数は

34ページをご覧ください。

ご注意

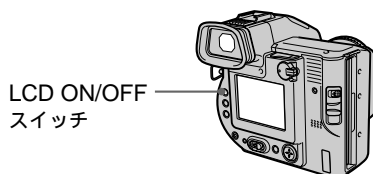
- “メモリースティック”への書き込みや読み出しには、フロッピーディスクの場合の約2倍の時間がかかります。
- 明るい被写体を撮影する場合、AEロック後に液晶画面の色合いが変わることがありますが、記録される画像に影響はありません。
- フロッピーディスクに書き込み中はACCESSランプが点灯します。点灯中は、本機に振動や強い衝撃を絶対に与えないでください。また、電源を切ったり、フロッピーディスクやバッテリーを取り出したりしないでください。画像データが壊れたり、フロッピーディスクが使えなくなることがあります。

ファインダーで撮影する

ファインダー視度調節ダイヤルを回し、ファインダーの画像がはっきり見えるようにして撮影します。

ご注意

ファインダーから顔を離すと、自動的にファインダーの画面が消えます。

液晶画面を消す

LCD ON/OFFスイッチを「OFF」にします。

ご注意

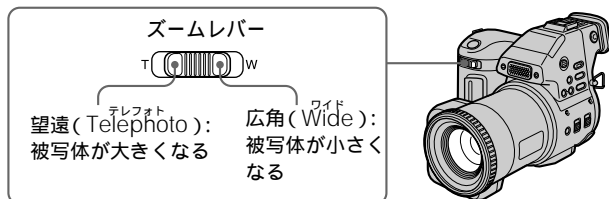
- メニューで［デモモード］を［入］にすると、液晶画面を消すことはできません。
- LCD ON/OFFスイッチが「OFF」のときファインダー画面が消えていると、LCD ON/OFFスイッチ、POWERスイッチ、PLAY/STILL/MOVIEスイッチ以外の操作は行えません。

液晶画面の明るさを調節する

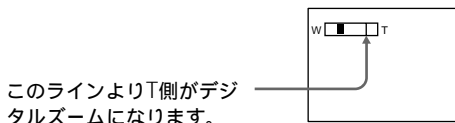
メニューの［LCD明るさ］で調節します（33ページ）。
フロッピーディスクに書き込まれる画像の明るさには影響ありません。

最後に撮影した画像を確かめる（レビュー）

メニューバーを消し（28ページ）、コントロールボタンの◀を押すと、最後に撮影した画像が表示されます。シャッターボタンを軽く押すか、コントロールボタンの◀/▶で［戻る］を選び、中央の●を押すと、通常の撮影モードに戻ります。
また、画像を削除したいときは、コントロールボタンの◀/▶でレビュー画面上の［削除］を選んで中央の●を押してから、コントロールボタンの▲で［実行］を選んで中央の●を押すと削除することができます。

ズームする

近くの被写体にピントがうまく合わないときは
ズームレバーをW側に動かして広角にし、本機を被写体に近づけて撮影してください。

ピントを合わせるために必要な被写体までの距離は
W側：約25 cm以上
T側： 約80 cm以上
さらに近くを撮影するときは、36ページをご覧ください。

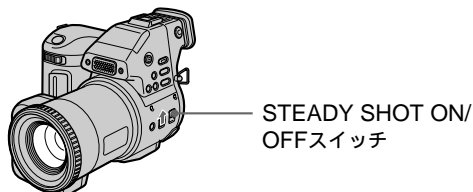
本機はデジタルズーム機能を搭載しています
デジタルズームは、画像をデジタル処理して拡大します。ズームが10倍を超えるとデジタルズームになります。

デジタルズームを使うと

- ズーム最大倍率は20倍になります。
- 画質は低下します。デジタルズームを使う必要がないときは、メニューで[デジタルズーム]を[切]にします(32ページ)。

ご注意

デジタルズームは動画撮影には使えません。

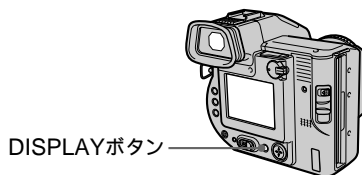
手ぶれを補正する

手ぶれ補正はカメラの揺れを検知して、そのぶれを補正する機能です。

STEADY SHOT ON/OFFスイッチをONにします。手ぶれ補正表示"✋"が表示されます。

ご注意

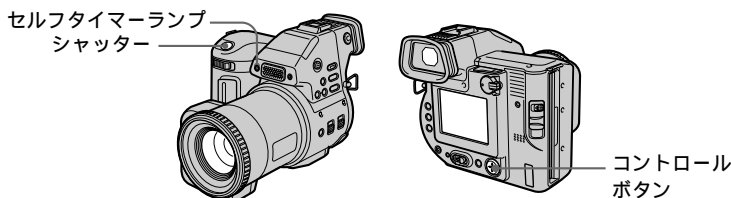
- 手ぶれ補正機能を使っていても、手ぶれが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- コンバージョンレンズ(別売り)を取り付けると、手ぶれの補正がききにくくなります。

撮影中の画面表示

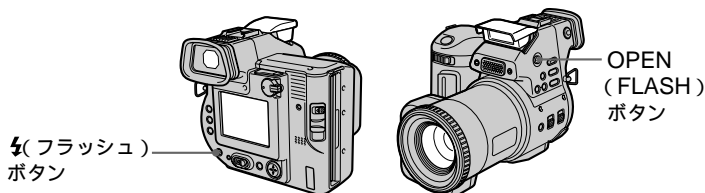
DISPLAYボタンを押して、出したり消したりできます。
表示される項目について詳しくは、64ページをご覧ください。

ご注意

- セルフタイマー表示と応用操作での一部の表示は消すことができません。
- 画面表示は記録されません。

セルフタイマーで撮影する

セルフタイマーを使用すると、10秒後に撮影が始まります。

コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で画面上の⏲を選び、中央の●を押します。画面に⏲（セルフタイマー）が表示され、シャッターを押してから10秒後に撮影されます。その間、セルフタイマーランプが点滅します。

フラッシュを使う

OPEN（FLASH）ボタンを押すと、フラッシュが上がり、使用可能になります。
お買い上げ時は「AUTO」（表示なし）に設定されており、周囲が暗くなると自動的に発光します。「AUTO」以外に設定するときは、ϟ（フラッシュ）ボタンを繰り返し押し、希望のフラッシュ表示を出します。フラッシュが持ち上がっていないときは設定できません。

ボタンを押すたびに、以下のように表示が変わります。
（表示なし）→👁→ϟ→⊘→（表示なし）

👁「AUTO赤目軽減」：撮影前に予備発光し、目が赤く写ることを抑制します。

ϟ「強制発光」：周囲の明るさに関係なく発光します。

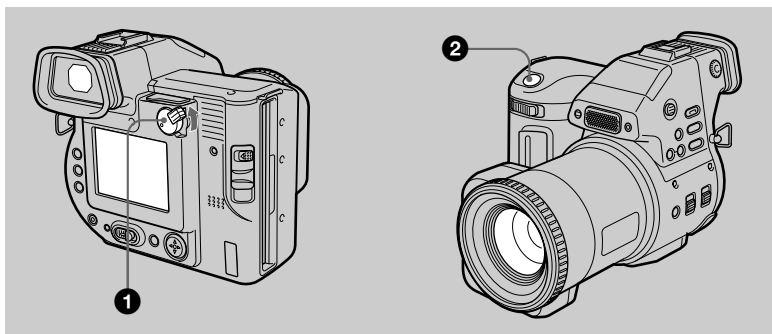
⊘「発光禁止」：発光しません。

発光量は、メニューの［フラッシュレベル］で変えることができます（32ページ）。

ご注意

- 内蔵フラッシュの推奨撮影距離は0.6 m～2.5 mです。
- コンバージョンレンズ（別売り）をつけていると、フラッシュの光をさえぎり、レンズの影が映る（ケラレる）ことがあります。
- 外部フラッシュと内蔵フラッシュは同時に使用することができません。
- フラッシュを使ったほうが良い状況のときフラッシュが閉じていると、液晶画面またはファインダーに⚡が表示されます。
- 👁 AUTO赤目軽減では、個人差や被写体までの距離、予備発光を見ていないなどの条件により赤目の軽減効果が現れにくいことがあります。また、プログラムAEのシャッタースピード優先モードでシャッタースピードが遅く設定されていると、赤目軽減効果は現れにくくなります。
- 明るい場面で強制発光を使うとフラッシュ効果が得られにくいことがあります。

動画を撮る

音声つきの動画をMPEG（エムペグ）形式で撮影します。
POWERスイッチで電源を入れ、フロッピーディスクを入れておきます。

❶ PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「MOVIE」にする。

❷ シャッターを押し込む。

「録画」と表示され、画像と音声がフロッピーディスクに書き込まれます。

ポンと1回押すと
5秒間録画します。
この録画時間はメニューの［記録時間］で10秒、15秒に設定できます（31ページ）。

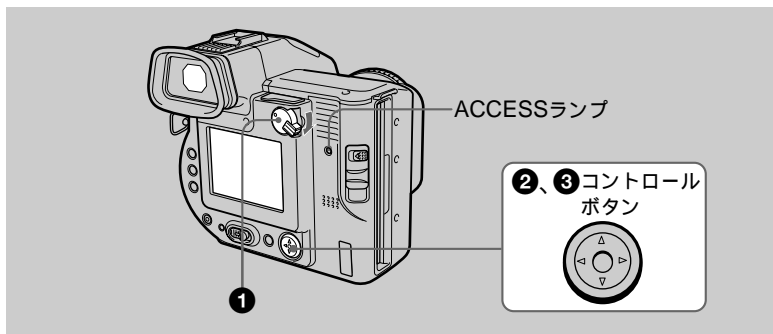
押し続けると
押し続けている間、最大60秒まで録画します。
ただし、メニューの［画像サイズ］を［320×240］に設定したときは、録画時間は最大15秒までになります（34ページ）。

液晶画面の明るさ調節やズーム、セルフタイマーなどは

14～17ページをご覧ください。

撮影中の画面表示

DISPLAYボタンを押して、出したり消したりします。
これらの表示は記録されません。
表示される項目について詳しくは、64ページをご覧ください。

静止画を見る

❶ PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「PLAY」にする。

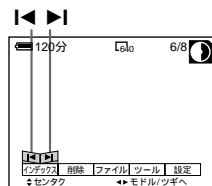
ACCESSランプが点灯し、最後に撮影した画像（静止画または動画）が表示されます。

❷ コントロールボタンの▲を押してメニューバーを表示する。

❸ コントロールボタンで静止画を選ぶ。

コントロールボタンの▲/▼/◀/▶を押して液晶画面またはファインダーに表示されているI◀/▶Iボタンを選び、◀/▶を押します。

I◀：前の画像を見るとき。

▶I：次の画像を見るとき。

メニューバーを表示していないときは

コントロールボタンの◀/▶で画像を選ぶことができます。

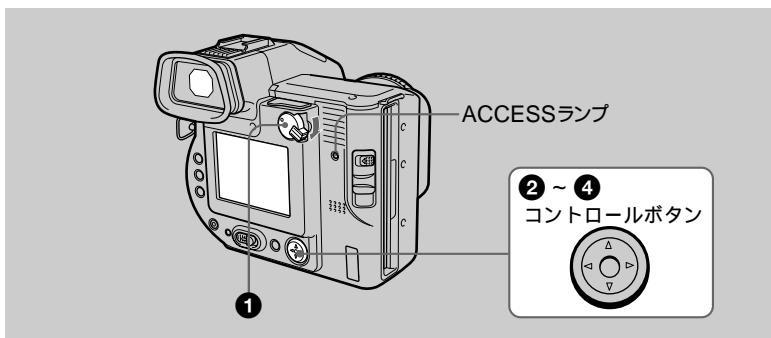
ご注意

- 本機で記録した画像は、本機以外の機器で正しく再生できないことがあります。
- 本機で記録できる最大画像サイズより大きい画像は、本機で再生できないことがあります。

静止画再生中の画面表示

DISPLAYボタンを押して、出したり消したりします。

表示される項目について詳しくは、65ページをご覧ください。

動画を見る

❶ **PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「PLAY」にする。**

ACCESSランプが点灯し、最後に撮影した画像（静止画または動画）が表示されます。

❷ **コントロールボタンの▲を押してメニューバーを表示する。**

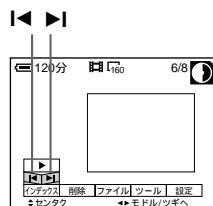
❸ **コントロールボタンで動画を選ぶ。**

動画は静止画よりもひとまわり小さく表示されます。

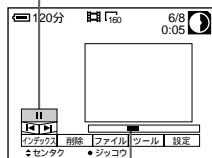
コントロールボタンの▲/▼/◀/▶を押して液晶画面またはファインダーに表示されているI◀/▶Iボタンを選び、◀/▶を押します。

I◀：前の画像を見るとき。

▶I：次の画像を見るとき。

基本操作
再生

動画を見る（つづき）

❹ **液晶画面に表示されている▶（再生スタート）ボタンをコントロールボタンの▲で選び、中央の●を押す。**

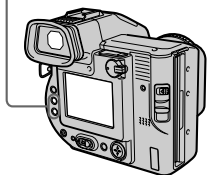
動画と音声が再生されます。
再生中は▶（再生スタート）ボタンが❚❚（一時停止）ボタンに変わります。

再生を一時停止するには
液晶画面またはファインダーに表示されている❚❚ボタンをコントロールボタンの▲/▼/◀/▶で選び、中央の●を押します。

メニューバーを表示していないときは
コントロールボタンの◀/▶で画像を選びます。中央の●を押すと、画像と音声が再生されます。再生中に中央の●を押すと、一時停止します。

音量を調節する

VOL＋/－ボタンを押して調節します。

動画再生中の画面表示

DISPLAYボタンを押して、出したり消したりします。
表示される項目について詳しくは、65ページをご覧ください。

パソコンで画像を見る

本機で撮影したデータを、パソコンで見ることができます。ここでは、一般的なパソコンでの画像の見かたを説明します。詳しくはパソコンや、アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

本機で撮影したデータは以下の形式で保存されています。それぞれのファイル形式に対応したアプリケーションがパソコンにインストールされていることをご確認ください。
静止画（テキストモード以外）：JPEG形式
動画／音声：MPEG形式
テキストモードの静止画：GIF形式

推奨OS／アプリケーション例

OS
- Windows 3.1
- Windows 95
- Windows 98
- Windows 98SE
- Windows NT 3.51
- Windows NT 4.0など

アプリケーション
- Microsoft Internet Explorer 4.0以降
- Netscape Navigator など

お手持ちのパソコンにInternet Explorerのようなブラウザソフトがインストールされている場合、本機で撮影されたフロッピーディスク内の［Mavica.htm］をダブルクリックすると記録されている画像の一覧リストが表示されます。

ご注意
- MPEGファイルを再生するにはActiveMovie（DirectShow）をインストールしてください。
- Windows 3.1ではMPEGファイルを扱えません。
- MacintoshではMac OS システム7.5以降のPC Exchangeを使うと、本機で撮影したフロッピーディスクを使用することができます。画像を開くにはMacintosh用アプリケーションが別途必要です。MPEGファイルを再生するにはQuickTime 3.0以降をインストールする必要があります。
- メモリースティック用フロッピーディスクアダプターMSAC-FD2Mをご使用の場合の推奨OSは、Windows 98またはWindows 95、Windows NT 4.0、Mac OS 7.6～8.6です。

パソコンで画像を見る（つづき）

ソニーパーソナルコンピューターVAIOシリーズをお使いの場合

本機で撮影したMPEG画像をソニーVAIOシリーズパーソナルコンピューターで再生すると、再生時間が極端に短くなることがあります。その場合は下記のホームページで最新ドライバー［Sony MPEG Decoder］を入手してご使用ください。

http://www.vaio.sony.co.jp/

アップデートプログラムから［Sony MPEG Decoder］を選び、ダウンロードする。
インターネットにアクセスする環境のない方は、VAIOテクニカルレスポンスセンターにお問い合わせください。電話番号は、VAIOの取扱説明書に記載されています。

画像を見る

例：Windows 98**をお使いの場合**

❶ パソコンを起動し、フロッピーディスクをパソコンのフロッピーディスクドライブに入れる。

❷ ［ マイコンピュータ］を開き、［ 3.5インチFD (A:)］をダブルクリックする。

❸ 再生したいファイルをダブルクリックする。

動画ファイル／音声ファイルはパソコンのハードディスクにコピーしてから再生することをお勧めします。フロッピーディスクから直接再生すると、画像／音声がとぎれることがあります。

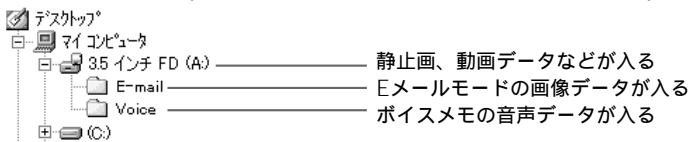
画像ファイルの保存先とファイル名について

本機で撮影した画像ファイルは、撮影モードごとにフォルダにまとめられています。フロッピーディスクに記録された画像のファイル名と“ メモリースティック ”に記録された画像のファイル名はそれぞれ異なります。ファイル名の意味は以下の通りです。

フロッピーディスク使用時のファイルの保存先とファイル名

□□□には001から999の数字が入る。
△には下記の文字が入る。
S： 画像サイズ640×480で撮影した静止画ファイル
F： 画像サイズが640×480よりも大きい静止画ファイル
V： 画像サイズ160×112で撮影した動画ファイル
W：画像サイズ320×240で撮影した動画ファイル

例：Windows 98（**フロッピーディスクが認識されたドライブは**A）

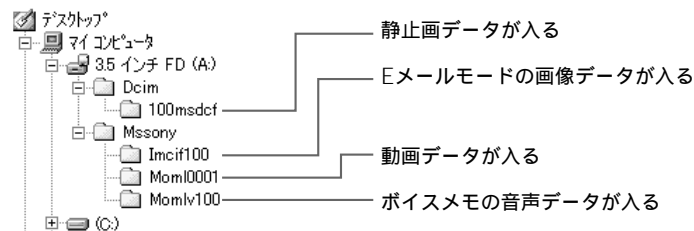
デスクトップ
マイ コンピュータ
3.5 インチ FD (A:) ―― 静止画、動画データなどが入る
E-mail ―― Eメールモードの画像データが入る
Voice ―― ボイスメモの音声データが入る
(C:)

この場所の中にある	このファイルは	こういう意味
3.5インチFD(A:)	MVC-□□□△.JPG	• 通常撮影した静止画ファイル • Eメールモードで撮影した静止画ファイル（35ページ） • ボイスメモモードで撮影した静止画ファイル（35ページ）
	MVC-□□□△.411	インデックス表示用ファイル 本機以外で再生できません。
	MVC-□□□△.MPG	動画ファイル
	MVC-□□□T.GIF	テキストモードで撮影した静止画ファイル（36ページ）
[E-mail]フォルダ	MVC-□□□E.JPG	Eメールモードで撮影した小サイズ画像ファイル（35ページ）
[Voice]フォルダ	MVC-□□□A.MPG	ボイスメモモードで撮影した音声ファイル（35ページ）

ご注意

- 下記のファイルの数字部分は同じになります。
  – Eメールモードで撮影した画像ファイルとその小サイズ画像ファイル
  – ボイスメモモードで撮影した画像ファイルとその音声ファイル
- インデックス表示用ファイルは本機以外で再生できません。

“メモリースティック”使用時のファイルの保存先とファイル名

□□□□には0001から9999の数字が入ります。

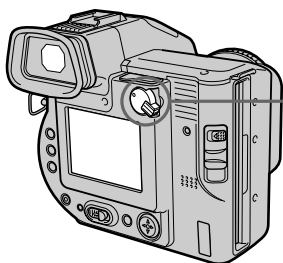
例：Windows98（**メモリースティック用フロッピーディスクアダプターが認識されたドライブは**A）

このフォルダの中にある	このファイルは	こういう意味
100msdcf	DSC0□□□□.JPG	• 通常撮影した静止画ファイル • Eメールモードで撮影した静止画ファイル（35ページ） • ボイスメモモードで撮影した静止画ファイル（35ページ）
	TXT0□□□□.GIF	テキストモードで撮影した静止画ファイル（36ページ）
Imcif 100	DSC0□□□□.JPG	Eメールモードで撮影した小サイズ画像ファイル（35ページ）
Moml0001	MOV0□□□□.MPG	動画ファイル
Momlv100	DSC0□□□□.MPG	ボイスメモモードで撮影した音声ファイル（35ページ）

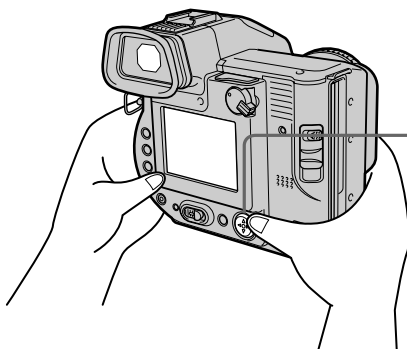
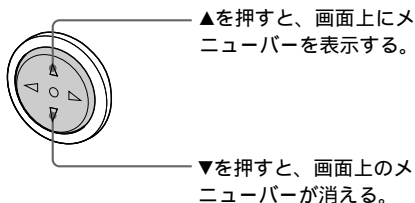
- 下記のファイルの数字部分は同じになります。
  – Eメールモードで撮影した画像ファイルとその小サイズ画像ファイル
  – ボイスメモモードで撮影した画像ファイルとその音声ファイル

応用操作の前に

ここでは、「応用操作」でよく使われるスイッチやボタンの使いかたをまとめて説明します。

PLAY/STILL/MOVIEスイッチの使いかた

本機を使って撮影するのか、再生・編集するのかを切り換えるスイッチです。操作を始める前に、あらかじめ以下のように切り換えます。

コントロールボタンの使いかた

本機はコントロールボタンで画面上のボタンや画像、メニューを選び操作します。ここでは応用操作編でよく使われる操作方法を説明します。

画面上の操作ボタン（メニューバー）を表示／消去する

ご注意

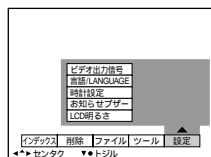
インデックス画面表示（43ページ）のとき、メニューバーを消すことはできません。

画面上の項目や画像を選択する

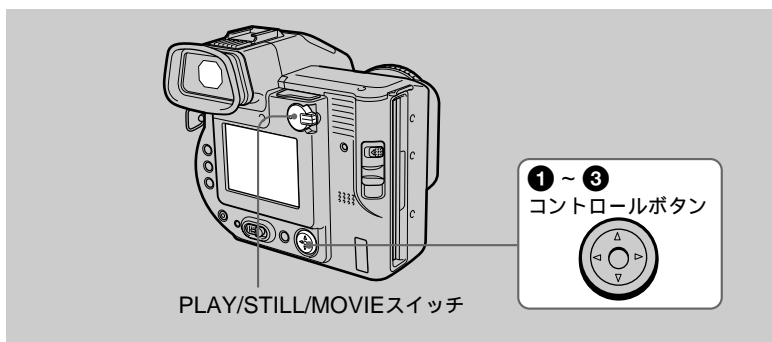
❶ **コントロールボタンの▲/▼/◀/▶を押し、設定したい項目や表示したい画像を選ぶ。**

選ばれた項目や画像の枠は青色から黄色に変わります。

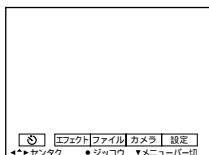
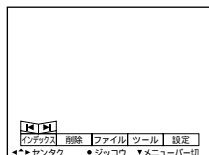
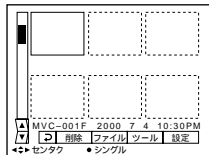
❷ **コントロールボタンの中央の●を押して、決定（実行）する。**

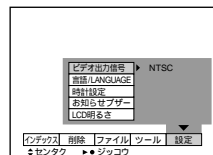
❶と❷を繰り返して各機能を操作します。

この取扱説明書の応用操作編では、上記の手順で項目を選び、実行することを「[(項目名)] を選択する」と表記しています。

メニューでの設定の変えかた

本機の応用操作の一部は、画面上に表示されるメニュー項目をコントロールボタンで選択して操作します。

❶ コントロールボタンの▲を押してメニューバーを表示する。

メニューバーはPLAY/STILL/MOVIEスイッチの設定によって、下記のように変わります。

「MOVIE」または「STILL」のとき

「PLAY」（シングル画面表示）のとき

「PLAY」（インデックス画面表示）のとき

❷ コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で選択したい項目を選び、中央の●を押す。

各項目は、選択されると青色から黄色に変わり、コントロールボタンの中央の●を押すと、設定できる項目が表示されます。

❸ コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で希望の設定項目を選び、中央の●を押す。

中止するには

コントロールボタンの▼を手順❶のメニューバー表示画面に戻るまで押します。メニューバーを消したいときは、もう1度押します。

設定項目の説明

PLAY/STILL/MOVIEスイッチの位置によって操作できる項目は変わります。画面には、使える項目のみが表示されます。■印はお買い上げ時の設定です。

◌(セルフタイマー)

セルフタイマー撮影をする(17ページ)。

エフェクト

項目	**設定**	**意味**	PLAY/STILL/ MOVIE**スイッチ**
ピクチャーエフェクト	ソラリ モノトーン セピア ネガアート ■ 切	画像の特殊効果を設定する(42ページ)。	「MOVIE」 「STILL」
日付／時刻	日時分 年月日 ■ 切	画像に日付や時刻を挿入するかどうか設定する(41ページ)。	「STILL」

ファイル

項目-1	**項目**-2	**設定**	**意味**	PLAY/STILL/ MOVIE**スイッチ**
ディスクツール	フォーマット	実行 キャンセル	フロッピーディスクを初期化(フォーマット)する。(53ページ) 中止する。	「PLAY」 「STILL」 「MOVIE」
	ディスクコピー	実行 キャンセル	フロッピーディスクのすべての内容を他のフロッピーディスクにコピーする。(51ページ) 中止する。	
	キャンセル		[フォーマット]または[ディスクコピー]を中止して、[ディスクツール]に戻る。	

ファイル

項目	設定	意味	PLAY/STILL/MOVIEスイッチ
ファイル番号	連番 ■ 標準	フロッピーディスクを取り換えても、ファイル番号を連続して付ける。 フロッピーディスクごとにファイル番号を001から付ける。	「STILL」 「MOVIE」
画像サイズ	■ 1600×1200 1600(3:2) 1600(ECM) 1024×768 640×480	静止画撮影時に画像のサイズを選ぶ。	「STILL」
	320×240 ■ 160×112	動画撮影時にMPEG画像のサイズを選ぶ。	「MOVIE」
撮影モード	テキスト ボイスメモ Eメール ■ 通常撮影	GIFファイルで白黒撮影する。 JPEGファイルと別に、音声ファイル(静止画付き)を記録する。 設定されている画像サイズと別に小サイズ(320×240)のJPEGファイルを記録する。 通常の撮影をする。	「STILL」
記録時間	15秒 10秒 ■ 5秒	動画撮影時の記録時間を選ぶ。	「MOVIE」
スライドショー(シングル画面のときのみ)	間隔設定 繰り返し スタート キャンセル	スライドショーの間隔を設定する。 ■3秒/5秒/10秒/30秒/1分 20分までスライドショーを繰り返す。 ■入/切 スライドショーを実行する。 スライドショーの設定および実行を中止する。	「PLAY」
プリントマーク	−	プリントする静止画像を選ぶ(52ページ)。	「PLAY」
プロテクト	−	画像に誤消去防止指定をする(47ページ)。	「PLAY」

応用操作の前に（つづき）

カメラ

項目	設定	意味	PLAY/STILL/MOVIEスイッチ
デジタルズーム	■ 入 切	デジタルズームを使う。 デジタルズームを使わない。	「STILL」
シャープネス	＋2～－2	画像のシャープネスを調節する。 設定を0にしたとき以外は画面にが出る。	「STILL」
フラッシュレベル	明 ■ 標準 暗	フラッシュの発光量を通常より多くする。 通常の設定。 フラッシュの発光量を通常より少なくする。	「STILL」
EV補正	＋2.0EV～－2.0EV	画像の明るさを調節する。	「STILL」 「MOVIE」

ツール

項目	設定	意味	PLAY/STILL/MOVIEスイッチ
コピー	実行 ■ キャンセル	画像をコピーする（49ページ）。 画像のコピーを中止する。	「PLAY」
リサイズ（シングル画面のときのみ）	1600×1200 1024×768 640×480 ■ キャンセル	撮影した静止画の画像サイズを変更する（49ページ）。	「PLAY」

設定

項目	設定	意味	PLAY/STILL/MOVIEスイッチ
デモモード	■ 入/スタンバイ 切	外部電源使用時のみ表示される項目。お買い上げ時は、［スタンバイ］に設定されている。電源を入れ、PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「MOVIE」または「STILL」にしたまま約10分放置すると、デモンストレーションが始まる。電源を切ると終了する。	「MOVIE」 「STILL」

設定

項目	設定	意味	PLAY/STILL/MOVIEスイッチ
ビデオ出力信号	■ NTSC PAL	ビデオ出力信号をNTSCモードに設定する(日本、米国など)。 ビデオ出力信号をPALモードに設定する(欧州など)。	「PLAY」 「STILL」 「MOVIE」
言語/LANGUAGE	■ 日本語／JPN ENGLISH	メニュー項目を日本語で表示する。 メニュー項目を英語で表示する。	「PLAY」 「STILL」 「MOVIE」
時計設定	ー	時計を合わせ直す(10ページ)。	「PLAY」 「STILL」 「MOVIE」
お知らせブザー	シャッター ■ 入 切	シャッターボタンを押したとき、シャッター音が鳴る。 コントロールボタン／シャッターボタンを押したときなどに、ブザー／シャッター音が鳴る。 音は鳴らない。	「PLAY」 「STILL」 「MOVIE」
LCD明るさ	▌▌▌▌▌▌▌▌▌▌▌	画面上の＋／ーボタンで液晶画面の明るさを調節する。	「PLAY」 「STILL」 「MOVIE」

インデックス(シングル画面のときのみ)

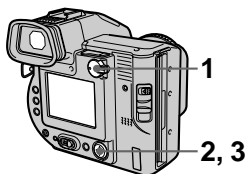
インデックス画面表示にする。

削除(シングル画面のときのみ)

設定	意味	PLAY/STILL/MOVIEスイッチ
実行	表示中の画像を削除する。	「PLAY」
キャンセル	削除を中止する。	

⮐(戻る)(インデックス画面のときのみ)

シングル画面表示に戻る。

画像サイズを設定する

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**STILL**」または「**MOVIE**」にする。**

2 メニューから［ファイル］→［画像サイズ］の順に選択する。

3 画像サイズを選択する。

静止画の場合：

1600×1200、1600（3:2）*、1600（ECM）、1024×768、640×480

* プリント紙のサイズ比3：2に合うように、画像を3：2で記録します。

動画の場合：

320×240、160×112

フロッピーディスク1枚に記録できる枚数または時間は

画像サイズ	撮影枚数または撮影時間*
1600×1200	約4枚（20枚）
1600（3:2）	約4枚（20枚）
1600（ECM）	約8枚（40枚）
1024×768	約10枚（52枚）
640×480	約30枚（159枚）
320×240	約15秒（1分25秒）
160×112	約60秒（5分45秒）

（　）内は8 MBの“ メモリースティック ”（別売り）に記録した場合

* 撮影モードが［通常撮影］の場合

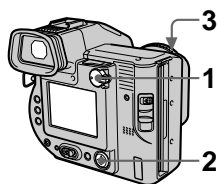
［1600（ECM）］を選んだときは

画質は劣化しますが、記録枚数が増えます。画質を優先する場合は［1600×1200］を選んでください。

ご注意

- ディスク残量が残っていても、1枚のフロッピーディスクに55枚以上記録しようとすると「ディスクがいっぱいです」と表示されて、撮影できなくなります。
- テキストモードでは、［1600（ECM）］を選んでも、記録できる画像の数は［1600×1200］と同じです。

Eメールに適した静止画を撮影する
– Eメールモード

静止画と同時に小サイズ（320×240）の画像を記録します。小サイズ画像はEメール添付時に便利です。

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**STILL**」にする。**

2 メニューから［ファイル］→［撮影モード］→［E**メール］の順に選択する。**

3 撮影する。

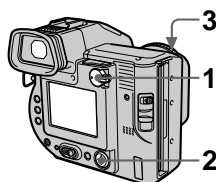
Eメールモード時、フロッピーディスク1枚に記録できる枚数は

画像サイズ	撮影枚数
1600×1200	約3枚（19枚）
1600（3:2）	約3枚（19枚）
1600（ECM）	約7枚（35枚）
1024×768	約8枚（47枚）
640×480	約22枚（120枚）

（　）内は8 MBの" メモリースティック "（別売り）に記録した場合

通常撮影モードに戻るには

手順**2**で［通常撮影］を選択します。

静止画に音声ファイルをつける – ボイスメモ

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**STILL**」にする。**

2 メニューから［ファイル］→［撮影モード］→［ボイスメモ］の順に選択する。

3 撮影する。

シャッターをポンと1回押すと
5秒間音声が記録されます。

シャッターを押し続けると
押し続けている間、最長40秒間音声が記録されます。

ボイスメモ撮影時、フロッピーディスク1枚に記録できる枚数は

画像サイズ	撮影枚数*
1600×1200	約3枚（17枚）
1600（3:2）	約3枚（17枚）
1600（ECM）	約5枚（30枚）
1024×768	約6枚（37枚）
640×480	約12枚（74枚）

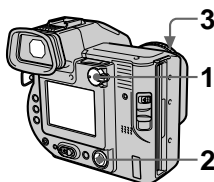
（　）内は8 MBの" メモリースティック "（別売り）に記録した場合
* 音声記録5秒の場合

通常撮影モードに戻るには

手順**2**で［通常撮影］を選択します。

書類などの文書を撮影する

– テキストモード

文字がはっきりと映るように、GIF（ジフ）形式でモノクロ記録します。

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**STILL**」にする。**

2 メニューから［ファイル］→［撮影モード］→［テキスト］の順に選択する。

3 撮影する。

テキストモード時、フロッピーディスク1枚に記録できる枚数は

画像サイズ	撮影枚数
1600×1200	最少4枚（25枚）
1600（3:2）	最少5枚（28枚）
1600（ECM）	最少4枚（25枚）
1024×768	最少11枚（61枚）
640×480	最少28枚（160枚）

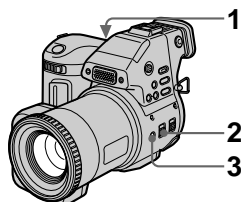
（　）内は8 MBの“メモリースティック”（別売り）に記録した場合

通常撮影モードに戻るには

手順**2**で［通常撮影］を選択します。

ご注意

- 被写体に均等に光が当たらないと、うまく撮影できないことがあります。
- データの書き込み／読み出しに通常撮影よりも時間がかかります。

被写体に接近して撮る

– マクロ撮影

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**STILL**」または「**MOVIE**」にする。**

2 FOCUS AUTO/MANUAL**スイッチを「**AUTO**」にする。**

3 （マクロ）ボタンを押す。

画面にが表示されます。
ズームをW側いっぱいに合わせると、約2 cmまでマクロ撮影ができます。

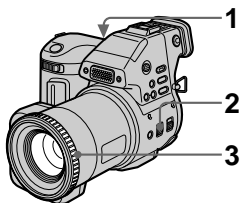
通常の撮影モードに戻すには

もう1度（マクロ）ボタンを押します。が消えます。

ご注意

- 次のプログラムAEのモードのときは、マクロ撮影ができません。
  －風景モード
  －パンフォーカスモード
- 表示が出たときは、マクロ撮影できません。

手動でピントを合わせる

通常は、自動的にピントの調節が行われています。暗いところで自動ピント調整が効きにくいときにこの機能を使うと便利です。

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**STILL**」または「**MOVIE**」にする。**

2 FOCUS AUTO/MANUAL**スイッチを「**MANUAL**」にする。**

手動ピント合わせ表示(F)が表示されます。

3 **フォーカスリングを回して、ピントの合う位置に調節する。**

静止画撮影時は液晶画面またはファインダーの画像が2倍*に拡大され、フォーカス距離情報が表示されます。調節が終わると元に戻ります。

2 cm〜∞（無限遠）の間で調節できます。

* デジタルズーム使用時は、2倍よりも小さくなります。

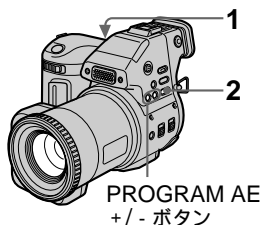
自動調節に戻すには

FOCUS AUTO/MANUALスイッチを「AUTO」に合わせます。

ご注意

- フォーカス距離情報は正確な距離ではありません。目安として使用してください。
- コンバージョンレンズ装着時はフォーカス距離情報が正しく表示されません。
- ズームレバーがT側にある場合、約0.8 m以内のフォーカスが正しく合わないことがあります。その場合、フォーカス距離情報が点滅します。点滅しなくなるまで、ズームレバーをW側に動かしてください。
- プログラムAEのパンフォーカスモードを選んでいるときは、手動ピント合わせはできません。

目的に合わせて撮る

ー プログラムAE

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**STILL**」または「**MOVIE**」にする。**

2 PROGRAM AE**ボタンを繰り返し押して、希望のモードの表示を出す。**

AE A アイリス(絞り)優先AE**モード**

意図的に、背景をぼかして被写体を際立たせたり、被写体と背景を際立たせたりすることができます。

PROGRAM AE+/−ボタンを繰り返し押して、F2.8からF11まで9段階の中からアイリス値を選びます。

AE S シャッタースピード優先AE**モード**

意図的に、動きのある被写体の一瞬の動きや被写体の流動感を撮影することができます。

PROGRAM AE+/−ボタンを繰り返し押して、静止画のときは8"から1/500まで17段階の中から、動画のときは1/8から1/500まで11段階の中からシャッタースピードを選びます。

夜景モード

暗い場所での明るい被写体の色とびをおさえ、暗い雰囲気を損なわずに撮影することができます。

夜景プラスモード

夜景モードの機能をさらに効果的に使用することができます。

風景モード

遠景にピントを合わせることで、遠くの風景などを撮影しやすくします。

パンフォーカスモード

気軽に近くの被写体から遠くの被写体にピントを合わせることができます。

プログラムAE**を解除するには**

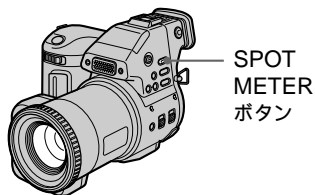
PROGRAM AEボタンを繰り返し押して、画面上のプログラムAE表示を消します。

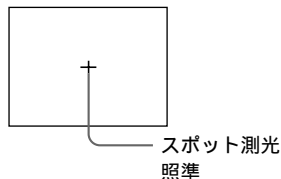
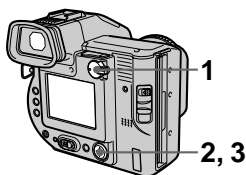
ご注意

- 風景モードでは、遠景のみにピントが合うようにフォーカスをコントロールします。
- パンフォーカスモードでは、ズームをW側いっぱいにし、フォーカスを固定します。
- 夜景プラスモードで撮影するときは、手ぶれを防ぐため三脚の使用をおすすめします。
- 次のモードでフラッシュを使うときは、強制発光にしてください。
  ー夜景モード
  ー夜景プラスモード
  ー風景モード

- テキストモードで撮影するとき、プログラムAEは選べません。
- アイリス優先モード、シャッタースピード優先モードで設定が適正でないと液晶画面またはファインダーの設定値表示が点滅します。このときは再度設定し直してください。

スポット測光モードを使う

逆光のときや被写体と背景とのコントラストが強いときに選びます。

SPOT METERボタンで全体測光、スポット測光の切り換えをする。

撮りたいポイントをスポット測光照準に合わせて撮ります。

明るさを補正する

– EV補正

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「STILL」または「MOVIE」にする。**

2 **メニューから［カメラ］→［EV補正］の順に選択する。**

3 **明るさを選択する。**

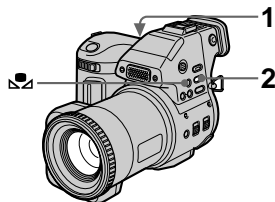
背景の映像の明るさを確認しながら調節してください。
1/3 EVごとに＋2.0 EVから
－2.0 EVまで変えられます。

ご注意

被写体が極端に明るいときや暗いとき、およびフラッシュ使用時には、設定した補正が効かない場合があります。

自然な色合いに調節する

– ホワイトバランス

通常は、自動的にホワイトバランスの調節が行われています。

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「STILL」または「MOVIE」にする。**

2 WHITE BALANCE**ボタンを繰り返し押して、ホワイトバランスの設定を選択する。**

屋内（☼）

- パーティー会場など照明条件が変化する場所
- スタジオなどビデオライトの下
- ナトリウムランプや水銀灯の下

屋外（☀）

- 夜景やネオン、花火などを撮るとき
- 日の出、日没などを撮るとき

ワンプッシュホワイトバランス（）

光源に合わせてホワイトバランスを一定の設定にするとき

オート（表示なし）

ホワイトバランスを自動調節する

[WB]（ワンプッシュホワイトバランス）モードで撮る

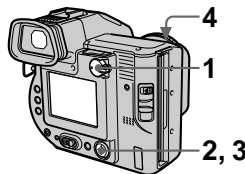
① WHITE BALANCEボタンを繰り返し押して、[WB]表示を選ぶ。
② 被写体を照らす照明条件と同じ所に白い紙などを置き、画面いっぱいに映す。
③ [WB]ボタンを押す。
[WB]表示が速い点滅に変わる。
ホワイトバランスが調整されてカメラに記憶されると、点灯に変わる。

自動調節に戻すには

手順**2**で［オート］を選択します。

ご注意

- 蛍光灯の下で撮影するときは[オート]を選択します。
- [WB]表示について
遅い点滅：ホワイトバランスが未設定
速い点滅：ホワイトバランス調整中
点灯：ホワイトバランス設定終了
- [WB]ボタンを押しても[WB]表示が点滅から点灯に変わらない場合は[オート]で撮影します。

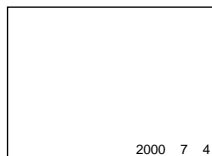
静止画に日付や時刻を入れる – 日付／時刻

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**STILL**」にする。**

2 **メニューから［エフェクト］→［日付/時刻］の順に選択する。**

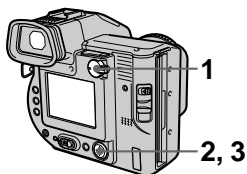
3 **日付・時刻の設定を選択する。**

日時分
画像に日時分を挿入する。
年月日
画像に年月日を挿入する。
切
画像に日付・時刻を挿入しない。

4 **撮影する。**

撮影時には日付／時刻は画面に出ません。再生時のみ表示されます。

ご注意

手順**3**で［年月日］を選んだ場合、「日付・時刻を合わせる」（10ページ）で選んだ表示順の年月日が挿入されます。

画像に特殊効果を与える
ー ピクチャーエフェクト

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**STILL**」または「**MOVIE**」にする。**

2 メニューから［エフェクト］→［ピクチャーエフェクト］の順に選択する。

3 希望のモードを選ぶ。

ソラリ
明暗をはっきりさせたイラストのように

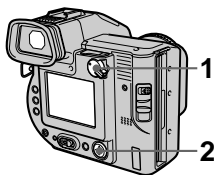
モノトーン
白黒に

セピア
古い写真のような色合いに

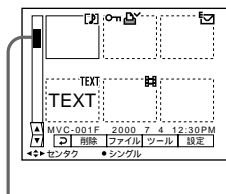
ネガアート
写真のネガフィルムのように

切
ピクチャーエフェクトを使用しない。

ピクチャーエフェクトを解除するには
手順**3**で［切］を選択します。

6画面表示する
– インデックス画面表示

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**PLAY**」にする。**

2 **画面上の［インデックス］を選択する。**

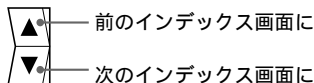
6枚の画像が一度に再生されます（インデックス画面）。

現在表示されている画像が全体の撮影枚数のどの部分にあたるか示す

画像の種類と設定により、次のマークが画像に表示されます。

- 動画ファイルのマーク：動画ファイル
- ボイスメモファイルのマーク：ボイスメモファイル
- Eメールファイルのマーク：Eメールファイル
- プリントマーク記号：プリントマーク
- プロテクトマーク記号：プロテクトマーク

TEXT：テキストモードマーク
（表示なし）：通常撮影、マークなし

次（前）のインデックス画面を表示するには

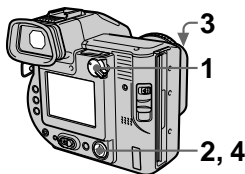
画面左下の▲/▼を選択します。

シングル（1枚表示）画面にするには

- コントロールボタンで見たい画像を選択します。
- ⮌（戻る）を選択します。

ご注意

テキストモードで撮影した画像はインデックス画面表示できません。

静止画の一部を拡大する

– 再生ズーム／トリミング

1 **PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「PLAY」にする。**

2 **拡大したい画像を表示する。**

3 **ズームレバーで画像をお好みの大きさにする。**

ズーム倍率表示が出ます。

4 **コントロールボタンを繰り返し押して、拡大部分を選択する。**

▲：画像が下に移動します。
▼：画像が上に移動します。
◀：画像が右に移動します。
▶：画像が左に移動します。

拡大表示をやめるには

ズーム倍率表示（🔍×1.1）が消えるまで、画像を縮小するか、コントロールボタンの●を押します。

拡大した画像を記録する（トリミング）

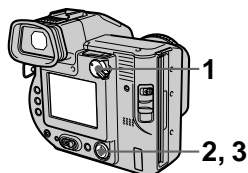
再生ズーム後にシャッターボタンを押すと、画像が640×480サイズで記録され、拡大前の画像表示に戻ります。

ご注意

- 動画またはテキストモードで撮影した画像はトリミングできません。
- ズーム倍率は画像サイズに関係なく、元の画像の5倍までです。
- トリミングした画像は画質が劣化するおそれがあります。
- トリミングしても元の画像は残ります。
- トリミングした画像は一番新しいファイルとして記録されます。

静止画を順番に再生する

– スライドショー

記録された画像のチェックやプレゼンテーションなどに便利です。

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**PLAY**」にする。**

2 **メニューから［ファイル］→［スライドショー］の順に選択する。**

下記の設定を選択する。

間隔設定
3秒、5秒、10秒、30秒、1分
繰り返し
入：［戻る］を選ぶまで、繰り返し再生される（約20分）。
切：すべての画像が再生されると、スライドショーは終わる。

3 **コントロールボタンで［スタート］を選択する。**

スライドショーが始まります。

スライドショーの設定を中止するには

手順**2**または**3**で［キャンセル］を選択します。

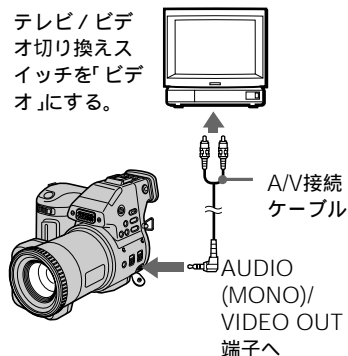
スライドショー再生中に画像を送る／戻すには

画面左下の**I◀/▶I**を選択します。

ご注意

- ［間隔設定］の設定時間は、目安です。画像サイズなどにより変わることがあります。
- ［繰り返し］の［入］を選んだときは、すべての画像をひととおり再生し終わるまでは、20分を超えても終了しません。

テレビで見る

テレビの電源を切ってからA/V接続ケーブルをつなぎ、もう1度電源を入れてください。

1 A/V**接続ケーブルで本機の** AUDIO (MONO)/VIDEO OUT**端子とテレビのオーディオ／ビデオ入力端子を接続する。**

テレビの音声入力端子がステレオタイプのときはA/V接続ケーブルの音声用端子をLchに接続してください。

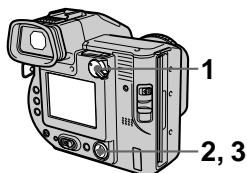
2 **テレビをつけ、本機で画像を再生する。**

テレビ画面に再生画像が映ります。

ご注意

ビデオ端子がないアンテナ入力端子だけのテレビには接続できません。

誤消去防止する
– プロテクト

プロテクト（誤消去防止）した画像には○ーπがつきます。

シングル画面表示のとき

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「PLAY」にして、プロテクトをかけたい画像を表示する。**

2 **メニューから［ファイル］→［プロテクト］→［入］の順に選択する。**

表示されている画像にプロテクトがかかり、○ーπが表示されます。

プロテクト指定を解除するには
手順**2**で［切］を選択します。

インデックス画面表示のとき

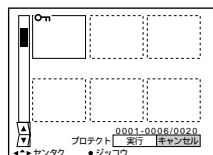
1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「PLAY」にして、インデックス画面表示にする。**

2 **メニューから［ファイル］→［プロテクト］→［全画像］または［選択画像］の順に選択する。**

3 **［全画像］を選んだときは**

［入］を選択する。
フロッピーディスクに記録されている、すべての画像がプロテクトされます。

［選択画像］を選んだときは

プロテクトしたい画像をコントロールボタンですべて選択してから、［実行］を選択する。
選んだ画像がプロテクトされます。

プロテクト指定を解除するには
手順**2**で［全画像］を選んだときは［切］を選択します。［選択画像］を選んだときは、プロテクトを解除したい画像をコントロールボタンで選んだあと［実行］を選択します。

画像を消す – 削除

プロテクトされた画像は削除できません。

シングル画面表示のとき

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「PLAY」にして、削除したい画像を表示する。**

2 **メニューから［削除］→［実行］の順に選択する。**

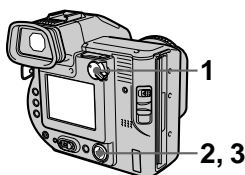
画像が削除されます。

インデックス画面表示のとき

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「PLAY」にして、インデックス画面表示にする。**

2 **メニューから［削除］→［全画像］または［選択画像］の順に選択する。**

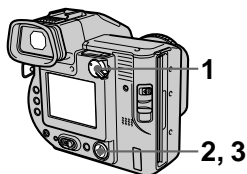
3 **［全画像］を選んだときは**

［実行］を選択する。
プロテクトされていない画像がすべて削除されます。

［選択画像］を選んだときは

削除したい画像をコントロールボタンですべて選択してから、［実行］を選択する。
選択した画像には🗑マークがつき、削除されます。

削除を中止するには

手順**2**または**3**で［キャンセル］を選択します。

撮影した静止画のサイズを変える – リサイズ

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**PLAY**」にして、サイズを変えたい画像を表示する。**

2 メニューから［ツール］→［リサイズ］の順に選択する。

3 変更したいサイズを選択する。

1600×1200、1024×768、640×480
変更した画像が記録され、リサイズする前の画像表示に戻ります。

リサイズを中止するには

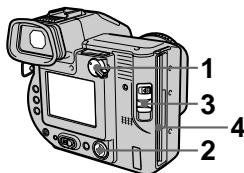
手順**3**で［キャンセル］を選択します。

ご注意

- 小さいサイズを大きいサイズにリサイズすると、画質が劣化します。
- リサイズした後も元の画像はそのまま残ります。
- 動画やテキストモードで撮影した画像はリサイズできません。
- リサイズした画像は一番新しいファイルとして記録されます。

画像をコピーする – コピー

別のフロッピーディスクに画像をコピーします。

シングル画面表示のとき

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**PLAY**」にして、コピーしたい画像を表示する。**

2 メニューから［ツール］→［コピー］→［実行］の順に選択する。

「アクセス中」と表示されます。

3「ディスク交換」と表示されたら、コピー元のフロッピーディスクを取り出す。

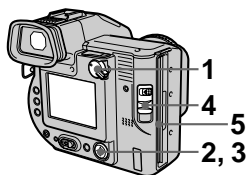
「ディスク挿入」と表示されます。

4 コピー先のフロッピーディスクを入れる。

「記録中」と表示されます。
「書き込み終了」と表示されたら完了です。
終了するときは［終了］を選択します。

さらに別のフロッピーディスクにもコピーするときは

手順**4**で「書き込み終了」と表示された後、［コピー続行］を選択し、手順**3**と**4**を繰り返します。

インデックス画面表示のとき

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「PLAY」にして、インデックス画面表示にする。**

2 メニューから［ツール］→［コピー］→［全画像］または［選択画像］の順に選択する。

3 ［全画像］を選んだときは

［実行］を選択する。
すべての画像がコピーされます。

［選択画像］を選んだときは

コピーしたい画像をコントロールボタンで選択する。
✔ が画像に表示されます。
コピーしたい画像をすべて選択してから、［実行］を選択する。
「アクセス中」と表示されます。

4 「ディスク交換」と表示されたら、コピー元のフロッピーディスクを取り出す。

「ディスク挿入」と表示されます。

5 コピー先のフロッピーディスクを入れる。

「記録中」と表示されます。
「書き込み終了」と表示されたら完了です。
終了するときは［終了］を選択します。

さらに別のフロッピーディスクにもコピーするときは

手順**5**で「書き込み終了」と表示された後、［コピー続行］を選択し、手順**4**と**5**を繰り返します。

手順の途中で中止するときは

PLAY/STILL/MOVIEスイッチを切り換えるか、電源を切ります。

ご注意

「書き込み終了」と表示された後、［終了］を選択しないでフロッピーディスクを取り出して、もう1度入れると、そのフロッピーディスクに画像がコピーされてしまいます。

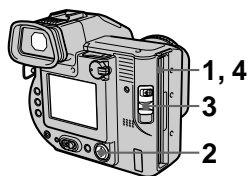
メモリースティック用フロッピーディスクアダプターを使用するときのご注意

- “メモリースティック”の画像には[全画像]を選択することはできません。
- フロッピーディスクから“メモリースティック”へのコピーはできません。
- “メモリースティック”からフロッピーディスクへコピーするときには、ファイル情報（Exifタグ）はコピーできません。

フロッピーディスクのすべての情報をコピーする
– ディスクコピー

撮影した画像だけでなく、パソコンで加工したファイルなども他のフロッピーディスクにコピーすることができます。

ご注意

• ディスクコピーをすると、コピー先のフロッピーディスクの内容はすべて消えます。プロテクトされているデータも消えるのでご注意ください。
• コピー先のフロッピーディスクは必ず初期化してお使いください。

1 **コピー元のフロッピーディスクを入れる。**

2 **メニューから［ファイル］→［ディスクツール］→［ディスクコピー］→［実行］の順に選択する。**

「アクセス中」と表示されます。

3 **「ディスク交換」と表示されたら、コピー元のフロッピーディスクを取り出す。**

「ディスク挿入」と表示されます。

4 **コピー先のフロッピーディスクを入れる。**

「記録中」と表示されます。
「書き込み終了」と表示されたら完了です。
終了するときは［終了］を選択します。

さらに別のフロッピーディスクにもコピーするときは

手順**4**で「書き込み終了」と表示された後、［コピー続行］を選択し、手順**3**と**4**を繰り返します。

手順の途中で中止するときは

PLAY/STILL/MOVIEスイッチを切り換えるか、電源を切ります。

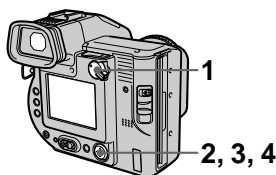
ご注意

「書き込み終了」と表示された後、［終了］を選択しないでフロッピーディスクを取り出して、もう1度入れると、そのフロッピーディスクにディスクコピーされてしまいます。

メモリースティック用フロッピーディスクアダプターを使用するときのご注意

“ メモリースティック ”とフロッピーディスクの間ではディスクコピーはできません。

プリントしたい静止画を選ぶ – プリントマーク

撮影した静止画の中からプリントしたい画像を指定することができます。DPOF（Digital Print Order Format）規格に対応しているお店で画像をプリントするときなどに便利です。

シングル画面表示のとき

1 **PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「PLAY」にして、プリントしたい画像を表示する。**

2 **メニューから［ファイル］→［プリントマーク］→［入］の順に選択する。**

表示されている画像に（プリント）マークがつきます。

プリントマークを消すには

手順**2**で［切］を選択します。

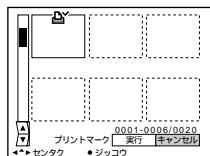
インデックス画面表示のとき

1 **PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「PLAY」にして、インデックス表示画面にする。**

2 **メニューから［ファイル］→［プリントマーク］→［選択画像］の順に選択する。**

3 **プリントマークをつけたい画像をコントロールボタンで選択する。**

4 **［実行］を選択する。**

（プリント）マークが緑色から白色に変わります。

プリントマークを消すには

手順**3**でプリントマークを消したい画像をコントロールボタンで選び、［実行］を選択します。

すべての画像のプリントマークを消すには

メニューから［ファイル］→［プリントマーク］→［全画像］→［切］の順に選択します。
すべての画像の（プリント）マークが消えます。

マビカプリンターFVP-1でプリントするときは

プリンターのPRESET SELECT SWを「PC」にセットします。

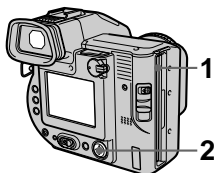
ご注意

動画とテキストモードで撮影した画像にプリントマークをつけることはできません。

フロッピーディスクを初期化する – フォーマット

初期化するとフロッピーディスクの内容はすべて失われます。初期化する前に内容を確認してください。

ご注意

画像がプロテクトされていても消去されますのでご注意ください。

1 **初期化したいフロッピーディスクを入れる。**

2 **メニューから［ファイル］→［ディスクツール］→［フォーマット］→［実行］の順に選択する。**

初期化を中止するには

手順**2**で［キャンセル］を選択します。

ご注意

- 必ずバッテリーが充電された状態か、ACパワーアダプターから電源をとっている状態で初期化してください。
- メモリースティック用フロッピーディスクアダプターを使って“メモリースティック”を初期化することもできます。

使用上のご注意

お手入れについて

液晶画面やファインダーをきれいにする

液晶画面やファインダーに指紋やゴミがついて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをおすすめします。

表面のお手入れについて

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください 。

海岸やほこりの多い場所で使ったあとは

カメラをよく清掃してください。潮風で金属が腐食したり、砂ぼこりが内部に入ったりすると故障の原因になります。

フロッピーディスクについて

フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。フロッピーディスクに記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。ディスク表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。
- フロッピーディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、フロッピーディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。
- 3.5インチ2HDフロッピーディスクでも、使用環境によっては画像の読み書きができないものがあります。そのときは別の銘柄のフロッピーディスクをご使用ください。

動作温度について

本機の動作温度は約0 ℃～40 ℃です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起こりやすいのは

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき、など。

結露を起こりにくくするために

本機を寒いところから急に暖い所に持ち込むときは、ビニール袋に本機を入れて、空気が入らないように密閉してください。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

結露が起きたときは

フロッピーディスクを直ちに取り出してください。電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側についた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

バッテリーについて

- バッテリーは防水構造ではありません。水などに濡らさないようにご注意ください。
- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために、1年に1回程度満充電にして、本機で使い切ってから保管してください。
- バッテリーは湿度の低い、涼しい場所で保管してください。

内蔵の充電式ボタン電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入／切に関係なく保持するために充電式ボタン電池を内蔵しています。
充電式ボタン電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し半年程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。
ただし、充電式ボタン電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

充電方法

本機をACパワーアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源を切った状態にして24時間以上放置する。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、デジタルスチルカメラテクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。**液晶画面またはファインダーに「C：□□：□□」のような表示が出たときは自己診断表示機能が働いています。**61**ページをご覧ください。**

症状	原因	処置
操作を受け付けない。	“インフォリチウム”以外のバッテリーを使用している。	“インフォリチウム”バッテリーを使う（6ページ）。
	フロッピーディスクの位置がずれている。	フロッピーディスクを取り出して入れ直す（12ページ）。
	バッテリーが残り少ない（表示が出る）。	バッテリーを充電する（7ページ）。
	ACパワーアダプターがしっかり差し込まれていない。	DC IN端子とコンセントにしっかり差し込む（7、9ページ）。
	内部システムの誤動作。	電源を切り、1分後に電源を入れて、正しく動作するか確認する。
撮影ができない。	PLAY/STILL/MOVIEスイッチが「PLAY」になっている。	「STILL」または「MOVIE」にする（13、19ページ）。
	フロッピーディスクが入っていない。	フロッピーディスクを入れる（12ページ）。
	フロッピーディスクのタブが書き込み禁止になっている。	書き込み可能にする（12ページ）。
ノイズが入る。	テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。	テレビなどから離して置く。
画像が暗い。	逆光になっている。	画像の明るさを調節する（40ページ）。
	液晶画面が暗い。	液晶画面の明るさを調節する（14ページ）。
フラッシュ撮影ができない。	設定がになっている。	（表示なし）または、に設定する（17ページ）。
	プログラムAEの「夜景」または「夜景プラス」、「風景」モードになっている。	解除する（38ページ）。 またはに設定する（17ページ）。
	PLAY/STILL/MOVIEスイッチが「MOVIE」になっている。	「STILL」にする。
	フラッシュが上がっていない。	フラッシュを上げる（17ページ）。

症状	原因	処置
正しい撮影日時が記録されない。	日付・時刻を合わせていない。	日付・時刻を合わせる（10ページ）。
明るい被写体を写すと、縦に尾を引いた画像になる。	スミアという現象。	故障ではない。
“メモリースティック”使用時、データの読み書きが遅い。	メモリースティック用フロッピーディスクアダプター使用時には、フロッピーディスクの場合の約2倍の時間がかかる。	故障ではない。
バッテリーの消耗が早い。	温度が極端に低いところで撮影／再生している。	故障ではない。
	充電が不充分。	充分に充電する。
	バッテリーそのものの寿命。	新しいバッテリーと交換する。
バッテリーの残量表示が正しくない。	温度が極端に高いまたは低いところで長時間使用している。	ー
	バッテリーそのものの寿命。	新しいバッテリーと交換する（6ページ）。
	バッテリーが消耗している。	充電されたバッテリーを取り付ける（6、7ページ）。
バッテリー残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる。	ー	満充電する（7ページ）。
ズームが効かない。	プログラムAEの「パンフォーカス」モードになっている。	解除する（38ページ）。
デジタルズームが効かない。	動画撮影中はデジタルズームが使えない。	故障ではない。
画像が白黒になっている。	テキストモードになっている。	解除する（36ページ）。
パソコンで再生すると画像や音が途切れる。	フロッピーディスクから直接再生している。	パソコンのハードディスクにコピーをして、ハードディスクのファイルを再生する（24ページ）。
パソコンで再生できない。	ー	パソコンメーカーまたはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
画像を消去できない。	プロテクトされている。	解除する（47ページ）。

症状	原因	処置
電源が途中で切れる。	PLAY/STILL/MOVIEスイッチが「STILL」または「MOVIE」でなにも操作しない状態が3分以上続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れる。	電源を入れる。
	バッテリーが消耗している。	充電されたバッテリーを入れる。
テレビに画像が出ない。	本機の「ビデオ出力信号」の設定が正しくない。	設定を変える(33ページ)。
スライドショーが自動的に止まる。	スライドショーは約20分で止まる。	続けるときはもう1度[スタート]を選択する(45ページ)。
プログラムAEにならない。	テキストモードになっている。	解除する(36ページ)。
(マクロ)ボタンが効かない。	• 手動フォーカスになっている。 • プログラムAEの「パンフォーカス」モードになっている。	解除する(37ページ)。 解除する(38ページ)。
リサイズができない。	動画とテキスト画像はリサイズできない。	ー
プリントマークが付かない。	動画とテキスト画像にはプリントマークを付けることができない。	ー

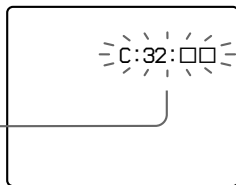
警告表示について

液晶画面またはファインダーには次のような表示が出ます。説明にしたがいチェックしてください。

表示	意味
ドライブエラー	フロッピーディスクドライブの異常。
ディスクがありません	フロッピーディスクが入っていない。
フォーマットエラー	• MS-DOSフォーマット（512バイト×18セクタ）以外のフロッピーディスクが入っている。 • メモリースティック用フロッピーディスクアダプターの電池がない。
ディスクがプロテクトされています	フロッピーディスクのタブが書き込み禁止の位置になっている。
ディスクがいっぱいです	フロッピーディスクの容量がいっぱいで記録できない。
ファイルがありません	画像が記録されていない。
ファイルエラー	画像再生時の異常。
ファイルがプロテクトされています	画像に誤消去防止がかけられている。
ディスクエラー	2DDのフロッピーディスクが挿入されている。またはフロッピーディスクの異常。
コピーできる容量を超えています	コピーしようとしているファイルサイズが大きすぎて本機ではコピーできない。
画像サイズオーバーです	本機で再生できるサイズより大きい画像を再生しようとした。
無効な操作です	• メモリースティック用フロッピーディスクアダプターを使用しているときにディスクコピーしようとした。 • メモリースティック用フロッピーディスクアダプターを使用しているときに[コピー]の[全画像]を選択した。
“インフォリチウム”バッテリーを使ってください	“インフォリチウム”対応以外のバッテリーを使っている。
	画像に誤消去防止がかけられている。
	バッテリーの残量がない。
FDアダプターの電池が不足しています	メモリースティック用フロッピーディスクアダプターの電池残量が少ない。

表示	意味
記録できません	メモリースティック用フロッピーディスクアダプターの電池残量が少ないので記録できない。
無効な操作です	メモリースティック用フロッピーディスクアダプターの電池残量が少ないので行おうとした操作ができない。
ディスクエラー	• メモリースティック用フロッピーディスクアダプターの電池残量が少ないので操作がまったくできない。 • メモリースティック用フロッピーディスクアダプターの異常。

自己診断表示 ー アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能がついています。これは本機に異常が起きたときに液晶画面またはファインダーにアルファベットと4桁の数字でお知らせする機能です。表示によって、異常の内容が分かるようになっています。
詳しくは以下の表をご覧になり、各表示に合った対応をしてください。
表示の末尾2桁（□□）の数字は、本機の状態によって変わります。

自己診断表示

- 「C:□□:□□」
  お客さま自身で正常な状態に戻せる内容
- 「E:□□:□□」
  デジタルスチルカメラテクニカルインフォメーションセンターに相談していただく内容

表示	原因	対応のしかた
C:32:□□	フロッピーディスクドライブの異常。	電源を入れ直す。
C:13:□□	初期化していないフロッピーディスクを入れた。	初期化する。（53ページ）
	本機では使えないフロッピーディスクを入れた。 データが壊れている。	フロッピーディスクを交換する。（12ページ）
	メモリースティック用フロッピーディスクアダプターの電池がない	新しい電池を入れる。
E:61:□□ E:91:□□	お客さま自身では対応できない異常が起きている。	デジタルスチルカメラテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。その際は、サービス番号5桁をすべてお知らせください。 例：E:61:10

お客様ご自身で対応できる場合でも、2、3度繰り返しても正常に戻らないときは、デジタルスチルカメラテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

主な仕様

システム
撮像素子
1/2.7型　カラーCCD
レンズ
10倍ズームレンズ
f＝6.0～60.0 mm
（35 mmカメラ換算では39～390 mm）
F2.8
露出制御
自動
ホワイトバランス
自動、屋内、屋外、ワンプッシュ
データ圧縮方式
動画　　MPEG1
静止画
フロッピーディスク：JPEG（JFIF）
“ メモリースティック ”: JPEG（Exif2.1）
GIF（テキストモード）
音声（静止画付き）
MPEG AUDIO（モノラル）
記憶媒体
3.5インチ　2HDフロッピーディスク（1.44 Mバイト）
MS-DOSフォーマット
メモリースティック用フロッピーディスクアダプターMSAC-FD2M
DCF98フォーマット
フラッシュ
推奨撮影距離 0.6 m ～ 2.5 m

出力端子
AUDIO (MONO)/VIDEO OUT端子（モノラル）
ミニジャック
映像：1 Vp-p、75 Ω不平衡、同期負
音声：327 mV（47 kΩ負荷時）
出力インピーダンス: 2.2 kΩ
外部フラッシュ端子
ミニジャック

液晶画面
使用液晶パネル
TFT（薄膜トランジスタアクティブマトリックス）駆動
総ドット数
123 200（560×220）ドット

ファインダー
使用液晶パネル
TFT（薄膜トランジスタアクティブマトリックス）駆動
総ドット数
180 000（800×225）ドット

電源・その他
使用バッテリー
NP-F330（付属）/NP-F550
電源電圧バッテリー端子入力
8.4 V
消費電力（撮影時）
3.9 W（液晶画面使用時）
3.5 W（ファインダー使用時）
動作温度
0 ℃ ～ ＋40 ℃
保存温度
–20 ℃ ～ ＋60 ℃
最大外形寸法
126×124×184 mm（幅×高さ×奥行）
本体質量
約970 g（バッテリーNP-F330、フロッピーディスク、レンズキャップなど含む）
内蔵マイクロホン
エレクトレットコンデンサマイクロホン
内蔵スピーカー
ダイナミックスピーカー

ACパワーアダプター
AC-L10A
電源
AC100～240 V、50/60 Hz
定格出力
DC8.4 V、1.5 A
動作温度
0 ℃～＋40 ℃
保存温度
–20 ℃～＋60 ℃
最大外形寸法
125×39×62 mm（幅×高さ×奥行き）
本体質量
約280 g

バッテリーNP-F330
使用電池
リチウムイオン蓄電池
最大電圧
DC8.4 V
公称電圧
DC7.2 V
容量
5.0 Wh（700 mAh）

付属品
ACパワーアダプターAC-L10A（1）
電源コード（1）
バッテリーパックNP-F330（1）
AV接続ケーブル（1）
ショルダーストラップ（1）
レンズキャップ（1）
レンズキャップ用ひも（1）
カスタマー登録用CD-ROM（1）
取扱説明書（1）
安全のために（1）
保証書（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラやフロッピーディスクなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

“故障かな？と思ったら”の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

デジタルスチルカメラテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルスチルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、デジタルスチルカメラテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

部品の交換について

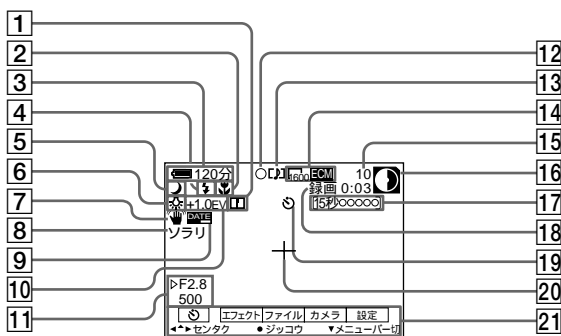
この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際交換した部品はご同意をいただいた上で回収させていただきますので、ご協力ください。

海外で使うとき

本機は外国でもお使いになれます

付属のACパワーアダプターAC-L10AはAC 100 V～240 V・50/60 Hzの広範囲な電源でお使いいただけます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国または地域では、電源コンセントに合った変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。

画面表示

撮影時

1 **シャープネス表示**

2 **マクロ表示／手動ピント合わせ表示**

3 **バッテリー残量表示**

4 **フラッシュレベル表示／フラッシュモード表示**

5 **プログラム AE表示／ズーム表示**

6 **ホワイトバランス表示**

7 **手ぶれ補正表示**

8 **ピクチャーエフェクト表示**
これらの表示は操作時のみ表示されます。

9 **日付／時刻表示**

10 **EV補正表示**

11 **アイリス/シャッタースピード表示**

12 **AE/フォーカスロック表示**

13 **撮影モード表示**

14 **画像サイズ表示**

15 **撮影枚数表示**

16 **ディスク残量表示**

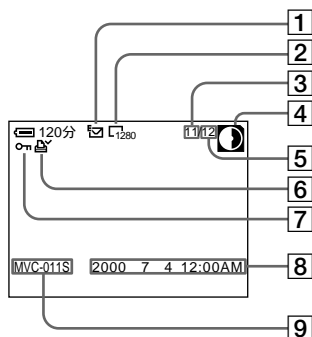
17 **動画／VOICE録画時間表示**

18 **自己診断表示／記録時間表示**

19 **セルフタイマー表示**

20 **スポット測光照準**

21 **メニューバー／ガイドメニュー**
コントロールボタンの▲を押すと表示されます。▼を押すと消えます。

静止画再生時

1 撮影モード表示

2 画像サイズ表示

3 画像番号

4 ディスク残量

5 フロッピーディスク記録枚数

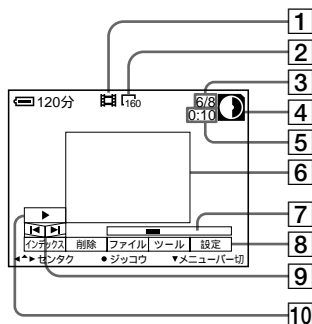
6 プリントマーク表示／ズーム倍率表示

7 プロテクト表示

8 画像の記録日時表示*

9 ファイル名*

* メニューバーを表示しているときは消えます。

動画再生時

1 撮影モード表示

2 画像サイズ表示

3 画像番号／フロッピーディスク記録枚数

4 ディスク残量

5 カウンター

6 再生画像

7 再生バー

8 メニューバーとガイドメニュー

9 画像送りボタン

10 再生スタート／一時停止ボタン
▶：停止中
❚❚：再生中

その他

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

ラ行

アルファベット順

デジタルスチルカメラ

MVC-FD95

カスタマー登録のご案内

電話のおかけ間違いにご注意ください。

ソニーではデジタルスチルカメラをお買い上げの皆様へのサポートをより充実させていくため、お客様に「カスタマー登録」をお勧めしています。
詳しくは同梱の「デジタルスチルカメラ カスタマーご登録のお勧め」をご覧ください。

カスタマー登録に関する問い合わせ
ソニーマーケティング（株）
　カスタマー専用デスク
電話：　**03-3584-6651**
受付時間：月～金曜日　午前10時～午後6時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

お問い合わせ窓口のご案内

電話のおかけ間違いにご注意ください。

■デジタルイメージングカスタマーサポート
デジタルスチルカメラとパソコンの接続方法や、最新サポート情報をご案内するホームページです。
http://www.sony.co.jp/support-di/

■テクニカルインフォメーションセンター
本機をお使いになって不明な点、技術的なご質問のご相談窓口、修理受付です。
電話：　**0564-62-4979**
受付時間：月～金曜日　午前9時～午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

D-Imaging World (デジタルイメージングワールド)
デジタルスチルカメラやハンディカムを楽しく使っていただくためのホームページです。
http://www.sony.co.jp/di-world/

Sony online
http://www.world.sony.com/
「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35
Printed in Japan

この説明書は再生紙を使用しています。
VOC（揮発性有機化合物）1%以下植物油インキ使用